

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成30年10月4日(2018.10.4)

【公表番号】特表2017-520174(P2017-520174A)

【公表日】平成29年7月20日(2017.7.20)

【年通号数】公開・登録公報2017-027

【出願番号】特願2016-569921(P2016-569921)

【国際特許分類】

H 04 S 5/00 (2006.01)

G 10 L 19/008 (2013.01)

【F I】

H 04 S 5/00

G 10 L 19/008

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月23日(2018.8.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

高次アンビソニック係数をレンダリングするように構成されるデバイスであって、

複数のスピーカーフィードを生成する、前記高次アンビソニック係数をレンダリングするために使用される行列の希薄さを示す希薄さ情報を、前記高次アンビソニック係数の符号化されたバージョンを含むビットストリームから取得することと、

前記行列の符号シンメトリを示す符号シンメトリ情報を前記ビットストリームから取得することと、

前記行列を表わすために使用される低減されたビット数を前記ビットストリームから取得することと、

前記希薄さ情報を、前記符号シンメトリ情報を、および前記低減されたビット数に基づいて、前記行列を再構成することと

を行うように構成される1つまたは複数のプロセッサと、

前記1つまたは複数のプロセッサに結合され、前記希薄さ情報を記憶するように構成されるメモリと

を備える、デバイス。

【請求項2】

前記1つまたは複数のプロセッサは、前記行列が前記高次アンビソニック係数から前記複数のスピーカーフィードをレンダリングするために使用されるスピーカーレイアウトを決定するようさらに構成される、

請求項1に記載のデバイス。

【請求項3】

前記複数のスピーカーフィードに基づいて前記高次アンビソニック係数によって表わされる音場を再生するように構成されるスピーカーをさらに備える、

請求項1に記載のデバイス。

【請求項4】

前記1つまたは複数のプロセッサは、前記複数のスピーカーフィードを生成するときに使用されるオーディオレンダラを識別する信号値を示すオーディオレンダリング情報を前

記ビットストリームから取得することと、前記オーディオレンダリング情報に基づいて前記複数のスピーカーフィードをレンダリングすることとを行うようにさらに構成される、

請求項 1 に記載のデバイス。

#### 【請求項 5】

前記信号値は、前記複数のスピーカーフィードに前記高次アンビソニック係数をレンダリングするために使用される前記行列に関連付けられたインデックスを含み、

前記 1 つまたは複数のプロセッサは、前記信号値中に含まれる前記インデックスに関連付けられた前記行列に基づいて前記複数のスピーカーフィードをレンダリングするように構成される、

請求項 4 に記載のデバイス。

#### 【請求項 6】

高次アンビソニック係数をレンダリングする方法であって、

複数のスピーカーフィードを生成する、前記高次アンビソニック係数をレンダリングするために使用される行列の希薄さを示す希薄さ情報を、前記高次アンビソニック係数の符号化されたバージョンを含むビットストリームから取得することと、

前記行列の符号シンメトリを示す符号シンメトリ情報を前記ビットストリームから取得することと、

前記行列を表わすために使用される低減されたビット数を前記ビットストリームから取得することと、

前記希薄さ情報、前記符号シンメトリ情報、および前記低減されたビット数に基づいて、前記行列を再構成することと

を備える、方法。

#### 【請求項 7】

前記行列が前記高次アンビソニック係数からマルチチャネルオーディオデータをレンダリングするために使用されるスピーカーレイアウトを決定することをさらに備える、

請求項 6 に記載の方法。

#### 【請求項 8】

前記複数のスピーカーフィードに基づいて前記高次アンビソニック係数によって表わされる音場を再生することをさらに備える、

請求項 6 に記載の方法。

#### 【請求項 9】

前記複数のスピーカーフィードを生成するときに使用されるオーディオレンダラを識別する信号値を示すオーディオレンダリング情報を前記ビットストリームから取得することと、

前記オーディオレンダリング情報に基づいて前記複数のスピーカーフィードをレンダリングすることと

をさらに備える、請求項 6 に記載の方法。

#### 【請求項 10】

前記信号値は、前記複数のスピーカーフィードを生成するために、前記高次アンビソニック係数をレンダリングするために使用される前記行列に関連付けられたインデックスを含み、

前記方法は、前記信号値中に含まれる前記インデックスに関連付けられた前記行列に基づいて前記複数のスピーカーフィードをレンダリングすることをさらに備える、

請求項 9 に記載の方法。

#### 【請求項 11】

ビットストリームを作成するように構成されるデバイスであって、

複数のスピーカーフィードを生成する、高次アンビソニック係数をレンダリングするために使用される行列を記憶するように構成されるメモリと、

前記メモリに結合され、

前記行列の符号シンメトリを示す符号シンメトリ情報を取得することと、

前記行列の希薄さを示す希薄さ情報を取得することと、  
前記符号シンメトリ情報および前記希薄さ情報に基づいて、前記行列を表わすために  
使用される低減されたビット数を決定することと、

前記高次アンビソニック係数の符号化されたバージョン、前記符号シンメトリ情報、  
前記希薄さ情報、および前記低減されたビット数を含むように前記ビットストリームを生  
成することと

を行うように構成される1つまたは複数のプロセッサと  
を備える、デバイス。

#### 【請求項12】

前記1つまたは複数のプロセッサは、前記行列が前記高次アンビソニック係数から前記  
複数のスピーカーフィードをレンダリングするために使用されるスピーカーレイアウトを  
決定するようにさらに構成される、

請求項11に記載のデバイス。

#### 【請求項13】

前記高次アンビソニック係数によって表わされる音場をキャプチャするように構成され  
るマイクロフォンをさらに備える、

請求項11に記載のデバイス。

#### 【請求項14】

ビットストリームを作成する方法であって、  
複数のスピーカーフィードを生成する、高次アンビソニック係数をレンダリングするた  
めに使用される行列の希薄さを示す希薄さ情報を取得することと、

前記行列の符号シンメトリを示す符号シンメトリ情報を取得することと、

前記符号シンメトリ情報および前記希薄さ情報に基づいて、前記行列を表わすために使  
用される低減されたビット数を決定することと、

前記高次アンビソニック係数の符号化されたバージョン、前記符号シンメトリ情報、前  
記希薄さ情報、および前記低減されたビット数を含むように前記ビットストリームを生  
成することと

を備える、方法。

#### 【請求項15】

前記行列が前記高次アンビソニック係数からマルチチャネルオーディオデータをレンダ  
リングするために使用されるスピーカーレイアウトを決定することをさらに備える、

請求項14に記載の方法。